



Synology VisualStation ユーザーガイド

目次

章 1 : はじめに

章 2 : Synology VisualStation の準備をする

VisualStation の設定	4
Surveillance Station で設定を管理する	4
VisualStation に慣れる	5

章 3 : VisualStation の操作

ライブ ビュー	6
タイムライン	8
管理	11
オプション	12

章 4 : トラブルシューティング

はじめに

Synology VisualStation をお買い上げいただきありがとうございます。VisualStation は Surveillance Station の機能性を補うために、ライブビュー機能を提供するソリューションです。Synology サーバーとペア化すると、VisualStation を使って次のようなことが可能になります。

ライブビューでフィードをリアルタイムに監視する

VisualStation のライブビューは、コンピュータを常時起動していなくても、Synology サーバーとペア化した IP カメラのフィードをリアルタイムで監視するための機能です。PTZ（パン、チルト、ズーム）コントロールを使ってフィードを調整したり、スナップショットをキャプチャしたり、それらを USB ドライブに保存したりすることができます。さらに、環境や必要に合わせてフィードのレイアウトを変えたり、カスタマイズしたりすることもできます。

詳細は、6 ページの「ライブビュー」を参照してください。

タイムラインを使って録画を再生する

タイムラインは IP カメラで撮影し、Synology サーバーに保存された録画内容を再生するための機能です。検索をかけるときに条件（カメラや日付）を設定することができます。別のカメラや別の時間に録画されたフィードを同時に見ることができますので、フッターを比較するのが簡単です。

詳細は、8 ページの「タイムライン」を参照してください。

録画とシステム ログの管理

VisualStation では録画内容とシステム ログを管理することができます。録画フッターは再生したり、USB デバイスにダウンロードしたりすることができます。また、誤って削除して重要なフッターを消失してしまわないように、ロックをかけることもできます。

詳細は、11 ページの「管理」を参照してください。

オンライン リソース

リンクをクリックすると、Synology のオンライン リソースをご利用いただけます。

- ナレッジベース : http://www.synology.com/support/knowledge_base.php
- フォーラム : forum.synology.com
- ダウンロードセンター : www.synology.com/support/download.php
- テクニカルサポート : www.synology.com/support/support_form.php

Synology VisualStation の準備をする

VisualStation の設定

本書の説明は、お使いになる Synology VisualStation がすでにローカル ネットワークに接続されており、Synology サーバーとのペア化も完了していることを想定しています。ハードウェアやソフトウェアの設定がまだ終わっていない場合は、Synology VisualStation の [クイック インストール ガイド](#) を参照してください。

Surveillance Station で設定を管理する

Synology VisualStation は、常時コンピュータを起動していなくても IP カメラのフィードを監視できます。しかし、IP カメラの構成やライブビューのレイアウトなど、基本的に構成は Surveillance Station にアクセスできるコンピュータから管理する必要があります。このセクションでは、これらの基本設定を管理する方法を紹介します。

Surveillance Station へのアクセス

VisualStation の設定を管理するには、Surveillance Station にアクセスできなければなりません。Surveillance Station にアクセスするには、**administrators** グループに属するアカウントで Synology DiskStation Manager (DSM) にログインしてください。次に、[\[メインメニュー\]](#) > [\[Surveillance Station\]](#) を選択します。

DSM または Surveillance Station って何? DSM や Surveillance Station についてお知りになりたい方は、[Synology DiskStation ユーザーガイド](#) www.synology.com からダウンロードできます) を参照してください。

別の情報を知りたい場合 Surveillance Station で VisualStation の設定を管理する方法については、Surveillance Station ヘルプを参照してください。ヘルプをお読みになるには、Surveillance Station を開き、絵アイコンをクリックした後で [\[ヘルプ\]](#) をクリックしてください。

IP カメラの設定を編集する

VisualStation はローカル ネットワーク上の IP カメラのフィードを表示します。ただし、IP カメラを先に Surveillance Station で設定しておく必要があります。IP カメラの設定を編集するには、Surveillance Station を開き、[\[管理\]](#) > [\[カメラ\]](#) > [\[カメラ リスト\]](#) を選択します。

ライブビュー レイアウトのカスタマイズ

ライブビューページのフィードは、Surveillance Station からレイアウトを変えたり、カスタマイズしたりすることができます。ライブビュー レイアウトをカスタマイズしたり、作成したりするには、次の手順に従ってください。

- 1 Surveillance Station を起動します。
- 2 [\[管理\]](#) > [\[デバイス\]](#) > [\[VisualStation\]](#) を選択します。
- 3 [\[編集\]](#) をクリックします。
- 4 [\[ライブビューの編集\]](#) を選択します。

デバイスとシステム設定の編集

VisualStation のデバイス情報やシステム設定は、Surveillance Station から見たり、編集したりすることができます。デバイス情報やシステム設定を確認するには、次の手順に従ってください。

- 1 Surveillance Station を起動します。
- 2 **[管理]** > **[デバイス]** > **[VisualStation]** を選択します。
- 3 **[編集]** をクリックします。
- 4 **[設定を編集]** を選択します。

VisualStation に慣れる

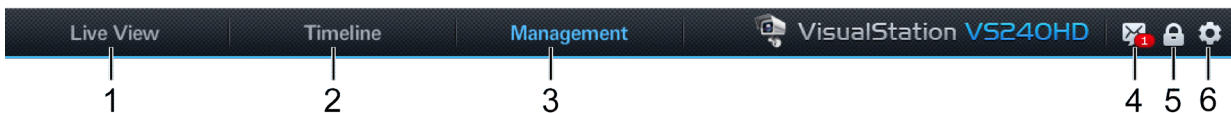
このセクションでは、Synology VisualStation のナビゲーションや操作方法の基礎を説明します。

マウスを使う

VisualStation の電源を入れてブートアップしたら、接続されている HDMI ディスプレイに VisualStation の画面が表示されます。この画面をナビゲートしたり、操作したりするために、VisualStation の背面パネルにある USB ポートにマウスを接続することができます。

ナビゲーション

画面の一番上にはタスクバーがあります。これはページとページを移動するためのものです。下の図と説明をお読みください。



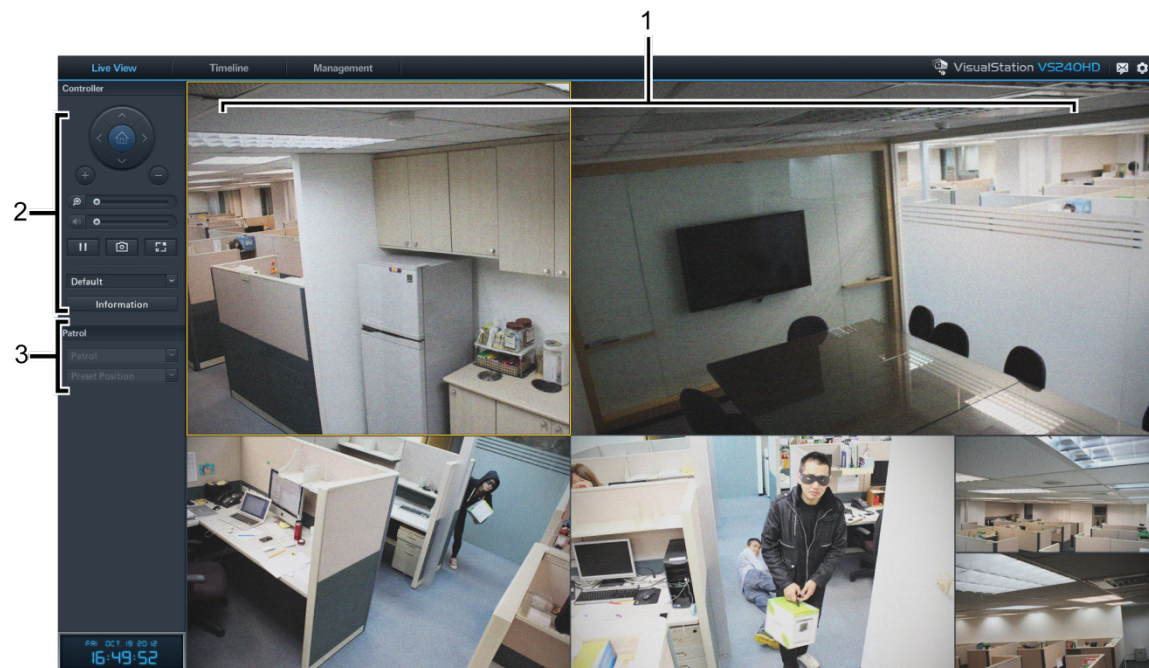
項目	名前	機能
1.	ライブ ビュー	[ライブビュー] タブへ。
2.	タイムライン	[タイムライン] タブへ。
3.	管理	[管理] タブへ。
4.	通知	システム メッセージや警告などの通知が表示されます。
5.	ロック	不正アクセスを防止するために、VisualStation をペア化されている Synology サーバーにロックします。
6.	オプション	次のオプションがあります。 1. 情報 : 次のシステム情報が表示されます。型名、シリアル番号、IP アドレス、ファンの状態、ペア化したサーバーの情報。 2. ネットワーク : デバイス名やネットワークの設定を編集します。 3. ファームウェア : ファームウェアのアップグレードを行います。 4. シャットダウン : VisualStation の電源を切ります。

VisualStation の操作

この章では、Synology VisualStation の主な機能の使い方を説明します。ライブビューによるフィードの監視、タイムラインを使って録画再生、管理機能を使った録画ファイルやシステム ログの管理、システム情報の表示、オプション設定を使ったファームウェアの更新などが含まれます。

ライブビュー

ライブビューページでは、Synology サーバーとペア化した IP カメラのフィードをリアルタイムで監視したり、スナップショットをキャプチャしたり、PTZ（パン、チルト、ズーム）コントロールでフィードを調整したりすることができます。環境や必要に合わせてフィードのレイアウトを変えたり、カスタマイズしたりすることもできます。



項目	名前	機能
1.	ライブビュー レイアウト	IP カメラのフィードを表示します。詳細については、「ライブビュー レイアウト」をご覧ください。
2.	コントロール パネル	PTZ コントロールやデジタルズームでフィードを操作したり、スナップショットを撮影したりします。詳細については、「コントロール パネル」をご覧ください。
3.	パトロール パネル	パトロール設定を切り換えます。詳細については、「パトロール コントロール」をご覧ください。

ライブビュー レイアウト

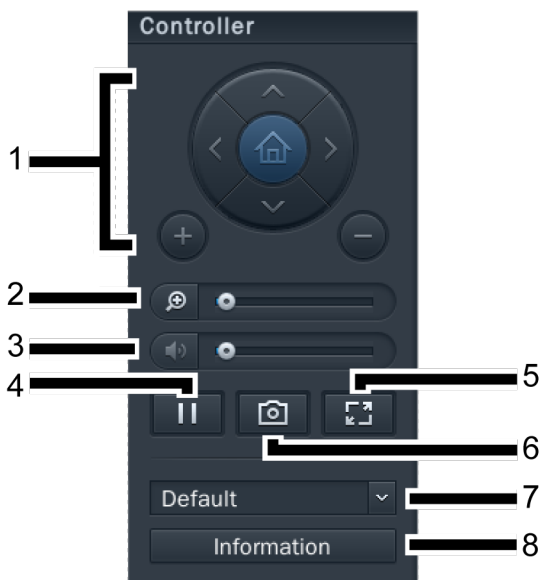
ここには IP フィードが表示されます。フィードのレイアウトは、Surveillance Station で変更できます。詳細については、4 ページの「ライブビュー レイアウトのカスタマイズ」をご覧ください。

フィードをクリックすると、それが選択されます。フィードを選択したら、左パネルのコントロールを使って表示オプションを設定できます。選択されているフィードは、黄色い枠で囲まれています。

フィードをダブルクリックすると、そのフィードの画像が拡大されます。標準ビューに戻るには、もう一度ダブルクリックしてください。

コントロールパネル

このセクションでは、ライブビューページでフィードを操作するためのオプションがあるコントロールパネルについて説明します。



項目	名前	機能
1.	PTZ コントロール	PTZ（パン、チルト、ズーム）コントロールに対応するカメラの角度やズームを調整します。カメラが PTZ 機能に対応していない場合は、これらのコントロールを使用することはできません。
		矢印ボタンを使って選択したカメラの角度を調節します。
		ホームボタンを押すと選択したカメラが既定の位置に戻ります。
		+ ボタンと - ボタンを使って、選択したカメラのメカニカル ズームを調整します。
2.	デジタル ズーム	ドラッグして、選択したカメラのデジタル ズームを調整します。画像をクリックしてドラッグすると拡大します。
3.	音量	ドラッグして、選択したカメラの音量を調整します。カメラがオーディオ出力に対応していない場合は、このスライダーを使用することはできません。
4.	一時停止/再開	選択したカメラのフィードを一時停止または再開します。

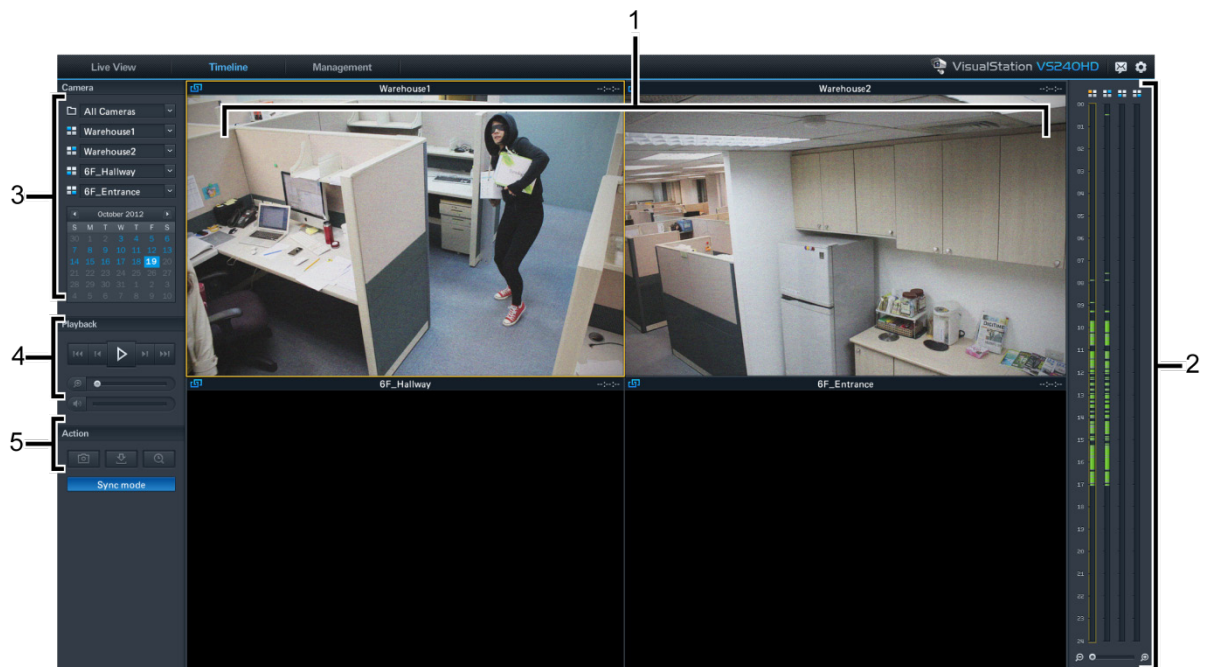
項目	名前	機能
5.	フルスクリーン	フルスクリーン モードに入り、タスクバーやコントロール パネルを隠します。右クリックすると、元の表示に戻ります。
6.	スナップショット	選択したカメラのフィードの静止画を保存します。スナップショットを保存するには、VisualStation に USB ドライブを接続する必要があります。
7.	ライブビュー レイアウトメニュー	ライブビューのレイアウトを切り換えます。詳細については、4 ページの「ライブビュー レイアウトのカスタマイズ」をご覧ください。
8.	情報	各カメラの状態（名前、有効、無効、録画中）を表示/非表示にします。

パトロールコントロール

このパネルのドロップダウンメニューから、パトロールやプリセットの位置などを選択できます。詳細は、Surveillance Station ヘルプを参照してください。

タイムライン

タイムラインページでは、IP カメラで撮影し、Synology サーバーに保存した録画を再生することができます。録画はカメラや日付によって区別することができます。また、別のカメラや時間に録画されたフッターを同時に見ることができますので、録画を比較するのが簡単です。



項目	名前	機能
1.	録画ビューア	IP カメラで録画したフッターが表示されます。下の「録画ビューア」をご覧ください。
2.	タイムライン	撮影した時間で録画を検索します。下の「タイムライン」をご覧ください。
3.	カメラ パネル	指定したカメラで撮影した録画を再生します。下の「カメラ パネル」をご覧ください。

項目	名前	機能
4.	再生コントロール	再生、一時停止、デジタルズームなどの再生コントロールです。下の「再生コントロール」をご覧ください。
5.	操作パネル	同期モードを有効にしたり、スナップショットを撮影したり、録画をUSBドライブにダウンロードしたりします。下の「操作パネル」をご覧ください。

録画ビューア

IP カメラの録画を表示します。

フィードをクリックすると、それが選択されます。フィードを選択したら、左側のコントロールを使って表示オプションを設定できます。選択されているフィードは、黄色い枠で囲まれています。

フィードをダブルクリックすると、そのフィードの画像が拡大されます。標準レイアウトに戻るには、もう一度ダブルクリックしてください。

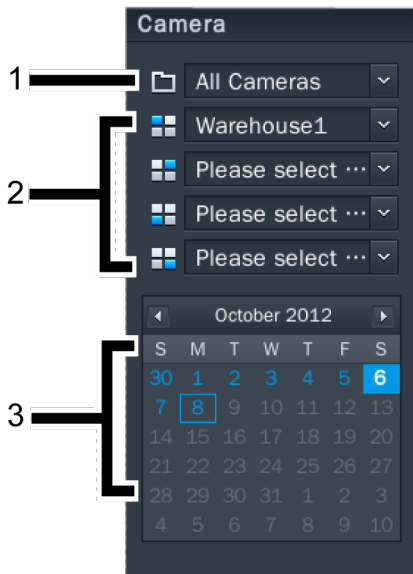
タイムライン

タイムラインには録画した時刻が表示されます。特定の時刻に撮影された録画を即座に探し出すことができます。4つの欄があり、それぞれ1つのフィードに対応しています。緑のセクションが録画になります。

タイムラインで特定の時刻をクリックすると、その時刻以降に撮影された最初の録画が再生されます。例えば、[カメラA]を選択し、08:00:00 をクリックした場合、仮に08:34:00 まで何も録画されていなかった場合は、08:34:00 から録画されたフィードが再生されます。

カメラ パネル

カメラを選択します。選択したカメラで撮影した録画が再生されます。タイムラインページで再生する前に、1台以上のカメラを選択する必要があります。

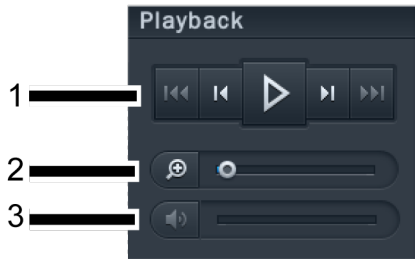


項目	名前	機能
1.	カメラ グループ	カメラ グループによってカメラをフィルター化します。

項目	名前	機能
2.	カメラ	指定したカメラの録画を再生します。最大 4 台のカメラを選択できます。それぞれのドロップダウンメニューは、録画ビューアのレイアウトの位置とタイムラインに対応しています。
3.	カレンダー	指定した日の録画を再生します。

再生コントロール

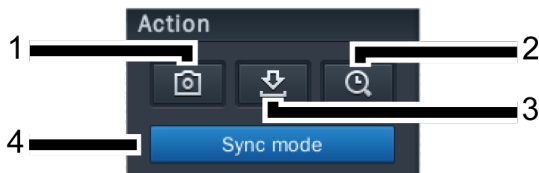
選択したカメラのフィードを再生するときに使用します。



項目	名前	機能
1.	再生、早送り、次へ	再生/一時停止、早送り/スローモーション、次へ/戻る、次のフレーム/前のフレームなどのボタンを使って、再生をコントロールします。
2.	デジタルズーム	ドラッグして、選択したカメラのデジタルズームを調整します。画像をクリックしてドラッグすると拡大します。
3.	音量	ドラッグして、選択したカメラの音量を調整します。カメラがオーディオ出力に対応していない場合は、このスライダーを使用することはできません。

操作パネル

各種操作を実行します。



項目	名前	機能
1.	スナップショット	選択したカメラのフィードの静止画を保存します。スナップショットを保存するには、VisualStation に USB ドライブを接続する必要があります。
2.	シーク	指定した時刻から録画を検索します。シークボタンをクリックした後、時間を入力してください。すると、VisualStation が指定した時刻以降に撮影された録画を再生します。 <i>例えば、シークをクリックして 07:00:00 と指定した場合、07:15:00 までは何も録画されていなかったとします。この場合、07:15:00 から再生が開始されます。</i>

項目	名前	機能
3.	ダウンロード	表示中の録画を USB ドライブにコピーします。録画ファイルを保存するには、VisualStation に USB ドライブを接続する必要があります。
4.	同期モード	同期モードの有効/無効を切り換えます。 同期モードを有効にすると、同じ時間に撮影した録画を同時に再生することができます。例えば、07:15:00 に指定した場合、指定したすべてのカメラで 07:15:00 に撮影された録画が一斉に再生されます。 同期モードを無効にすると、選択したカメラで別々の時刻に撮影された録画を再生し、比較することができます。例えば、カメラ A で 07:15:00 に撮影された録画を再生しながら、カメラ B で 03:45:00 に撮影された録画も再生できます。

管理

[管理] ページでは、録画とシステム ログを管理します。録画ファイルは再生したり、USB デバイスにダウンロードしたりすることができます。また、誤って削除して重要な録画を消失してしまわないように、ロックをかけることもできます。このページは、**[録画リスト]** と **[ログ]** の 2 つのセクションに分かれています。

録画リスト

録画リストには、IP カメラで撮影したフットageがリストされます。録画は、VisualStation にペア化された Synology サーバーに保存されています。録画はカメラ、録画モード、開始時間、ファイルサイズ、ビデオフォーマットなどによってフィルタ化できます。**[フィルタ]** ボタンをクリックして、フィルタ化する条件を入力すると、表示したい録画が絞り込まれます。

録画リストは、**[管理]** > **[録画リスト]** を選択すると表示されます。

録画のバックアップ

別のデバイスに録画をバックアップしたり、表示したりするために、録画をダウンロードする必要があるかもしれません。録画をダウンロードするには、次の手順に従ってください。

- 1 USB ドライブを VisualStation に接続します。
- 2 ダウンロードしたい録画を選択します。
- 3 **[ダウンロード]** ボタンをクリックします。

録画をロックする

システムが古いファイルを消去するときに、誤って大切な録画も消去してしまわないように、ロックをかけることができます。録画をロックするには、次の手順に従ってください。

- 1 ロックしたい録画を選択します。
- 2 **[ロック]** > **[指定録画をロック]** を選択します。

ログ

ログページにはシステムやカメラの状態についての情報（エラー、警告、その他のメッセージ）が表示されます。

ログページは、**[管理]** > **[システム]** > **[ログ]** を選択すると表示されます。

ログページに表示する情報を絞り込むには、**[フィルタ]** をクリックして条件（録画タイプ、関連するカメラ、時刻）を指定します。

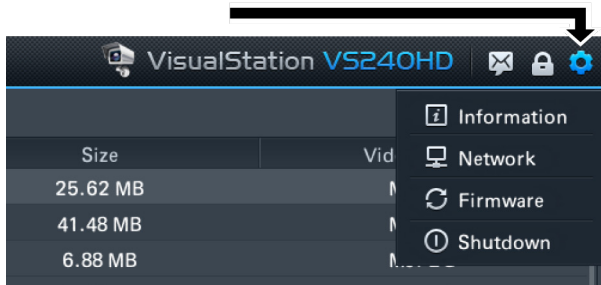
ログのバックアップ

ログ情報を USB ドライブにダウンロードして、バックアップを作成することができます。ログをダウンロードするには、次の手順に従ってください。

- 1 USB ドライブを VisualStation に接続します。
- 2 **[ダウンロード]** ボタンをクリックします。

オプション

デバイスの情報、ネットワーク設定、ファームウェアのアップグレード、シャットダウンなどのオプションは、下図に示すように、タスクバーにあるツール アイコンをクリックすると表示されます。



情報

情報ページには、型番、シリアル番号、IP アドレス、温度の状態、ペア化した Synology サーバーのデバイス名や IP アドレスなど、VisualStation に関連するデバイス情報が表示されます。

温度の状態は次のように表示されます。

アイテム	ライト	状態
温度の状態	緑	正常
	黄	エラー ファンエラーが発生したり、過熱状態になると、VisualStation が 2 秒おきに警告音を鳴らします。

ネットワーク

VisualStation の商品名とネットワーク設定が表示されます。また、設定を編集することもできます。

ファームウェア

VisualStation のファームウェアをアップグレードします。ファームウェアをアップグレードするには、次の手順に従ってください。

- 1 最新のファームウェア アップデートを www.synology.com からダウンロードしてください。
- 2 ファームウェア ファイルを USB ドライブにコピーします。
- 3 USB ドライブを VisualStation に接続します。
- 4 オプション（ツール アイコン）を開きます。
- 5 **[ファームウェア]** を選択します。
- 6 **[スキャン]** をクリックします。システムが USB ドライブ上の最新のファームウェア ファイルを検出します。
- 7 **[アップグレード]** をクリックします。

ファームウェアのアップグレードが完了すると、VisualStation の電源が自動的に切れて再起動します。

シャットダウン

VisualStation をシャットダウンします。このボタンを使用できないときは、VisualStation の正面パネルにある電源ボタンを押したままにするとシャットダウンできます。

トラブルシューティング

この章では、Synology VisualStation をご使用になる上で生じやすい問題に対処する方法を紹介します。

VisualStation と Synology サーバーをペア化できません

VisualStation の管理を簡略化し、安全性を高めるには、VisualStation を Synology サーバーにロック（固定）することができます。このようにすると、VisualStation を別の Synology サーバーとペア化してしまう間違いを防ぐことができます。VisualStation と新しい Synology サーバーをペア化するには、VisualStation をロック解除する必要があります。

VisualStation のロックの状態は、フロントパネルのロック LED インジケータで確認できます。下の表をご覧ください。

項目	ライト	状態
ロック LED インジケータ	オフ	ロック解除
	緑	ロック

VisualStation をロック/ロック解除する

VisualStation をロックまたはロック解除するには、タスクバー上のロックボタンをクリックします。次に、**[これをロックする]** オプションを選択し、**[OK]** をクリックします。

ローカル ネットワークで VisualStation が検出されません

ネットワークの問題があるときは、次のことをお試しください。

- ネットワーク ルーターは正常に作動していますか？DSL やケーブル ルーターなど、ネットワーク装置の設定を変更する方法がお分かりにならない場合は、メーカーにお問い合わせください。インターネット サービス会社が提供した機器をご使用になっている場合は、その会社にお問い合わせください。
- ネットワークに接続されているすべての機器の電源を切るか、プラグを抜いてください。モデルやルーターのライトがすべて消えていることを確認してください。1分経ってから、再度デバイスの電源を入れます。一部の VOIP モデルには電池が入っていることがあります。モデルの電源を完全に切るには、電池も抜いてください。
- VisualStation にデフォルト設定を復元します。デフォルト設定を復元するには、VisualStation の背面パネルにあるリセットボタンを警告音が鳴るまで押し続けます。
- 同一ネットワーク上のコンピュータを Surveillance Station に接続してみて、ネットワークの接続状況を確認してください。Surveillance Station に接続できない場合は、Synology サーバーの設定を確認する必要があります。
- ルーターやモデムも含め、すべてのネットワーク機器のファームウェアとドライバをアップデートします。詳細は、デバイスのメーカーにお尋ねください。
- ネットワーク設定に複数のスイッチやルーターが含まれる場合は、VisualStation と Synology サーバーを同じスイッチまたはルーターに繋いでみて、問題を探し出してください。または、両方を別のネットワークに接続してみる方法もあります。

「未ペア化」、「無効」、「接続解除」などのメッセージが表示されますが、これはなぜですか？

それぞれのメッセージの意味については、次の表をご覧ください。

メッセージ	説明
未ペア化	VisualStation が Synology サーバーとペア化されていません。VisualStation のペア化については、VisualStation の クイック インストール ガイド 、または Surveillance Station ヘルプをご参照ください。
無効	VisualStation はペア化されていますが、Surveillance Station で無効にされています。VisualStation を有効にするには、Surveillance Station で [管理] > [デバイス] > [VisualStation] を選択し、 [有効] をクリックします。
接続解除	VisualStation がネットワークから切断されています。すべての接続を確認してください。

カメラ フィードのフレームレートが低すぎます

ライブビューページのフィードのフレーム レートが標準値よりも低い場合は、次の方法で対処してみてください。

- ルーターやスイッチなど、ネットワーク機器の帯域を確認してください。ネットワークの帯域を高め、フィードを処理するために、機器をアップグレードする必要があるかもしれません。
- カメラの解像度を下げてください。カメラの解像度を変更するには、次の手順に従ってください。
 - 1 **Surveillance Station** を起動します。
 - 2 **[管理]** タブを開きます。
 - 3 **[カメラ リスト]** を開きます。
 - 4 リストからカメラを選択します。
 - 5 **[編集]** をクリックした後、**[カメラを編集]** を選択します。
 - 6 **[ビデオ]** タブを開きます。

スナップショットを保存したり、録画をダウンロードしたりすることができません

スナップショット、録画、システム ログは USB ドライブに保存できます。ファイルを保存するには、USB ドライブを VisualStation に接続してください。

SYNOLOGY, INC.
エンドユーザー用の使用許諾契約

必ずお読みください：このエンドユーザー用の使用許諾契約書（EULA）は、あなた（1人の個人または1つの団体のいずれか）と SYNOLOGY, INC. および SYNOLOGY AMERICAN CORP および SYNOLOGY UK LTD. を含むその関係会社（総称して「SYNOLOGY」という）の間で、[WWW.SYNOLOGY.COM](http://www.synology.com) からダウンロード可能な、あるいはSYNOLOGY製品（以下、「製品」という）に付属またはインストールされたSYNOLOGYソフトウェアおよびその他の関連するファームウェア、媒体、説明書、および「オンライン」または電子ドキュメント（総称して「ソフトウェア」という）について交わされる法的な契約書です。

あなたは、ソフトウェアを含むパッケージを開ける、SYNOLOGYによりプリインストールされていないソフトウェアをインストールする、またはプリインストールされたソフトウェアに含まれた製品を使用することにより、本書の利用規約に従うことに同意したと見なされます。本書の利用規約に同意しない場合は、製品の梱包を開けない、ソフトウェアをインストールしない、ソフトウェアを含む製品を使用してはいけません。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

第1条. 条件付きソフトウェアライセンス。 本書の利用規約に従い、Synologyは、ユーザーに、製品の許可された使用に関して、製品ソフトウェアをインストール、実行、使用するための限定付き、非独占的、譲渡不可の個人用ライセンスを許可します。

第2条. 文書。 ソフトウェアに付属のいかなる文書も適度な枚数の複製を作成し使用することができます。その複製は、社内使用に限り、第三機関に対して再発行または再配布（ハードコピーまたは電子コピーのいずれの形式においても）してはけません。

第3条. バックアップ。 ユーザーは、バックアップおよび保管目的において適切な枚数のソフトウェアの複製を作成することができます。

第4条. 更新。 元のソフトウェアを更新するまたは補足するために Synology が提供するまたは Synology のウェブサイト (www.synology.com)（以降、「ウェブサイト」という）で利用可能なソフトウェアは、その更新または補足に対して別のライセンス契約が提供される場合を除き、本書に準拠します。別のライセンス契約が提供される場合は、それに準拠します。

第5条. ライセンス制限。 第1条で制定されるライセンスは、ユーザーが注文および購入した製品の定める範囲で適用され、そのソフトウェアに対するユーザーのすべての権利を提示します。Synologyは、本書において明確にユーザーに与えられていないすべての権限を保有します。前述の制限を無視して、ユーザーは第三者に対して以下の権限を与えるまたは許可してはいけません。(a) 製品に関する目的以外で本ソフトウェアを使用すること、(b) 本ソフトウェアの使用許可、配布、リース、レンタル、転写、譲渡、その他の処理、または商業目的でホストされる、またはサービスを提供する環境において本ソフトウェアを使用すること、(c) 本ソフトウェアのリバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブル、または本ソフトウェアのソースコードまたは機密情報を得るための試みを行うこと、ただし、この制限に関わらず準拠法によりそのような行動が明確に許可されている場合は除く、(d) ソフトウェアの派生物を採用、修正、改造、翻訳、または作成すること、(e) 製品の著作権表示またはその他の所有権表示を取り除く、修正する、隠すこと、(f) 製品またはソフトウェアのコンポーネント、特徴、機能へのアクセスを Synology が管理するために使用するあらゆる方法を回避、または回避しようとすること。

第6条. オープンソース。 本ソフトウェアには、GNU General Public License ("GPL Components") (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> 参照) の下で Synology にライセンス許可が与えられているコンポーネントが含まれる場合があります。GPLの条件は、本書の内容が GPL コンポーネントの使用に関して GPL の要件と衝突する場合に GPL コンポーネントに対してのみ適用され、そのよ

うな場合、ユーザーは該当コンポーネントの使用について GPL に準拠することに同意するものとします。

第7条. 監査。 Synologyは、本書の利用規約に関するユーザーのコンプライアンスを監査する権利を有します。ユーザーは、Synologyに、施設、設備、帳簿と記録、文書へのアクセスを許可し、Synologyの監査を促進させるために適切な協力を行うことに同意します。

第8条. 所有権。 本ソフトウェアは、Synology およびライセンス契約者の価値のある資産であり、著作権法およびその他の知的財産法および条約で保護されています。Synology またはそのライセンス契約者は、本ソフトウェアが持つ、および対するすべての権利および権限を保有し、本ソフトウェアのすべての著作権およびその他の知的所有権を保有します。

第9条. 制限付き保証。 Synologyは、プレインストールされているソフトウェアを除く製品のソフトウェアをインストール、またはプレインストールされているソフトウェアを使用してから 90 日間に限り、規定（「保証期間」）に従って保証しています。本ソフトウェアは、ソフトウェアに対して Synology が公開、またはウェブサイトで制定する仕様に準拠します。Synologyは、商取引上の合理的な方法で、Synology 独自の決断により、ソフトウェアの不具合を修正する、または前述の保証に準拠しないソフトウェアを交換する、のいずれかを行います。ただし、この場合、保証期間内にユーザーが Synology に対して不具合を書面にて通知する必要があるとします。前述の保証は、以下を起因とする不具合には適用されません。(w) 本書に従って使用、複製、配布、公開しない場合、(x) Synology 以外の者によるソフトウェアのカスタマイズ、修正、その他の改造が行われた場合、(y) Synology 以外の者により提供された製品、サービス、またはその他の事柄とソフトウェアを併用した場合、または (z) 本書の規定に従わない場合。

第10条. サポート。 保証期間中、Synologyは、ユーザーにサポートサービスを提供します。保証期間後のソフトウェアに対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

第11条. 保証の放棄。 明確に前述されている場合を除き、SYNOLOGY およびそのサプライヤはソフトウェアを「現状のまま」、一切を購入者の責任で提供します。SYNOLOGY およびそのサプライヤは、本書において、明示的または暗示的に関わらず、法的、法律またはその他の方法により生じる、市販性、特定目的または使用との適合性、本ソフトウェアに関する権利を侵害していないことを含みそれに限定されないその他のすべての保証を放棄します。上述の制限を除いて、SYNOLOGYは、本ソフトウェアにバグ、エラー、ウィルス、その他の不具合が生じないことを保証しません。

第12条. 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのライセンサーは、ソフトウェアの使用または使用し

ないこと、または本書に規定される、または本書に関連して発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

第 13 条. 責任の制限。 本ソフトウェアの使用、または使用できないことから生じる、または関連する、または本書または本ソフトウェアに記載される、または関連する SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の保証の放棄、特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本書に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がユーザーに適用されない場合があります。

第 14 条. 輸出規制。 本ソフトウェアは、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本ソフトウェアに適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

第 15 条. 米国政府の許認可権。 米国政府に提供されるすべてのソフトウェアには、本書に記載される商用使用権および制限事項が付与されています。本ソフトウェアをインストール、コピー、または使用することにより、米国政府は、FAR Part 12 の意義の範囲内で、本ソフトウェアが「商用コンピュータソフトウェア」または「商用コンピュータソフトウェアの説明書」であることに合意します。

第 16 条. 契約の終了。 その他の権利を侵害することなく、ユーザーが本書の利用規約に従わない場合は、Synology が本書の契約を終了する場合があります。その場合、ユーザーは本ソフトウェアの使用を止め、本ソフトウェアのすべてのコピーおよびそのすべてのコンポーネントを破棄する必要があります。

第 17 条. 譲渡。 ユーザーは、本書に記載されるユーザーの権利を第三者に移譲または譲渡してはいけません。前述の規約に違反するそのような移譲または譲渡は、無効です。

第 18 条. 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本書は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

第 19 条. 紛争の解決。 本ソフトウェアに関して、またはユーザーと Synology との関係について Synology が提供する

本保証、本ソフトウェアまたはサービスから生じるまたは関係するいかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、ユーザーと Synology の間の紛争のみに限定されず、仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取るようになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適切な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、あなたは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをあなたは理解していますが、あなたは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、この第 19 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。ユーザーが米国に住居しない場合、本条に記載される紛争の訴訟は、最終的に、R.O.C. 仲裁法および関連する執行機関の規則の手順に従って 3 人の仲裁者により仲裁解決されるものとします。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本書の条項への不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

第 20 条. 弁護士費用。 本書におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

第 21 条. 契約の分離。 本書に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本書の残りの部分は有効に存続します。

第 22 条. 完全合意。 本書は、本ソフトウェアおよび本書の対象物について Synology とユーザー間の完全合意を制定し、書面または口頭に関わらず、すべての事前および同時期の了解事項および合意に優先します。本書の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

SYNOLOGY, INC. 制限付き製品保証

本限定保証（「保証」）は、SYNOLOGY AMERICA CORP AND SYNOLOGY UK LTD. を含む SYNOLOGY, INC. およびその関連会社（総称して「SYNOLOGY」という）の製品（以下に記載）に適用されます。ユーザーは、製品パッケージの開封あるいは製品の使用により、本保証の条件に拘束されることを承諾し、同意します。本保証の条件に同意しない場合は、製品を使用しないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返品し、販売店の返品規定に従って返金を求めてください。

第1条. 定義。 (a) 「新製品」には、次の製品が含まれます。(1) 「カテゴリ I 製品」とは、Synology 製品モデル RS810+、RS810RP+、RX410、13 シリーズ以降の XS+/XS が末尾についたすべての DS/RS NAS モデル（RS3413xs+ を除く）、または 13 シリーズ以降の 12 ドライブベイ搭載の全 DX/RX 拡張ユニットを意味します。(2) 「カテゴリ II 製品」とは、Synology 製品モデル RS3413xs+、RS3412xs、RS3412RPxs、RS3411xs、RS3411RPxs、RS2211+、RS2211RP+、RS411、RS409RP+、RS409+、RS409、RS408-RP、RS408、RS407、DS3612xs、DS3611xs、DS2411+、DS1511+、DS1010+、DS710+、DS509+、DS508、EDS14、RX1211、RX1211RP、RX4、DX1211、DX510、DX5、VS240HD、RAM モジュール（1GB/2GB/4GB/8GB）を意味します。(3) 「カテゴリ III 製品」とは、次の要件を満たす Synology 製品モデルを意味します。12 シリーズ以上の 5 個のドライブベイを持つ、XS+/XS が末尾につかないすべての DS NAS モデル、12 シリーズ以上の XS+/XS が末尾につかないすべての RS NAS モデル、12 シリーズ以上の 4 または 5 ドライブベイを持つ、すべての DX/RX 拡張ユニットを意味します。(4) 「カテゴリ IV 製品」とは、2008 年 3 月 1 日以降にカスタマにより購入されたその他すべての Synology 製品モデルを示します。(5) 「カテゴリ V 製品」とは、2008 年 2 月 29 日までにカスタマにより購入されたその他すべての Synology 製品モデルを示します。(b) 「モデルチェンジされた製品」とは、一新されたモデルでオンラインショップを通じて Synology が直接販売する Synology 製品を意味し、Synology ディストリビューターや正規販売店を含みません。(c) 「お客さま」とは、Synology または Synology の正規代理店および販売店から製品を購入した最初の個人または団体を示す。(d) 「オンラインショップ」とは、Synology または Synology の子会社が運営するオンラインショップを意味します。(e) 「製品」とは、新製品またはモデルチェンジされた製品、および Synology によって製品に搭載されたハードウェアおよび付属のドキュメントまたはアップグレードが含まれる。(f) 「ソフトウェア」とは、カスタマが購入した製品に付属する、カスタマがウェブサイトからダウンロードする、または Synology の製品にプリインストールされている Synology の保有するソフトウェアで、ファームウェア、関連する媒体、画像、アニメーション、動画、オーディオ、テキスト、ソフトウェアまたは製品に組み込まれるアップデート、および該当ソフトウェアのアップデートまたはアップグレードが含まれる。(g) 「保証期間」とは、お客さまが製品を購入した日から始まり、(1) カテゴリ I 製品は 5 年間、(2) カテゴリ II および III 製品は 3 年間、(3) カテゴリ IV 製品は 2 年間、(4) カテゴリ V 製品は 1 年間、(5) 「現状のまま」で販売された製品、またはオンラインショップで「保証なし」の状態の販売された製品を除き、新たに提供された製品は提供後 90 日間とします。(h) 「ウェブサイト」とは、www.synology.com に配置されている Synology ウェブサイトを指します。

第2条. 制限付き保証と救済手段

2.1 制限付き保証。 第2.6条に従って、Synology は、保障期間中、各製品について (a) 製造上の材料不良がないこと、(b) 正常な使用において Synology の公開仕様に従って正しく機能することをカスタマに保証します。Synology は、製品付属のエンドユーザー用の使用許諾契約書（存在する場合）の条項に従ってソフトウェアを保証します。Synology は、「現状のまま」販売されるモデルチェンジされた製品、またはオ

ンラインショップから「保証なし」で購入された製品については、保証を行いません。

2.2 唯一の法的救済手段。 カスタマが以下に説明する方法で適切な保証期間内に第 2.1 条で制定する保証の不具合を通知した場合、Synology が該当する不具合を検証した後、Synology が独自の判断で以下を行います。第 2.3 条に従って製品が完全な返却が行われた後に、(a) 商業的に適切な方法で製品を修理する、または、(b) 不具合のない製品または部品と交換します。前述は、第 2.1 条の保証不履行または製品に対するその他の不具合または欠陥に対する Synology の完全な責任であり、カスタマの唯一かつ非排他的な救済手段です。カスタマは、製品の不具合に対する Synology の診断と検証を適切に支援しなければなりません。第 2.1 条に制定する保証には以下は含まれません。(1) ソフトウェアに関する保証。(2) カスタマの現場における製品の物理的な設置と取り外し、(3) カスタマの現場への訪問、(4) Synology および契約サービスプロバイダの通常営業時間（週末およびサービスプロバイダの休日を除く）以外に不具合部品の修理または交換に必要な労働時間、(5) 第三機関の設備またはソフトウェアで行う作業、(6) カスタマまたは第三機関が設置したハードディスクの保証、(7) ハードディスクの互換性保証。

2.3 返却。 第 2.2 条に従ってカスタマが返却する製品は、返却前に Synology から商品返却確認番号 (RMA) を取得し、Synology の現行の RMA 手順に従って返却しなければなりません。カスタマは、Synology 正規代理店または販売店に連絡して RMA の取得を依頼し、依頼時に購入の証明および製品のシリアル番号を提示する必要があります。保証請求の場合、本保証の対象とするため、カスタマは、第 2.3 条に従って製品を完全な状態で Synology に返却する必要があります。RMA 番号を取得せずに返却された製品、または分解された製品 (Synology の指示による場合は例外) は、受け取りを拒否され、カスタマの費用でカスタマに返送されます。RMA 番号を取得した製品は、必ず Synology から納品された状態に可能な限り近い状態で、Synology の指定する住所に、製品を十分保護できるよう梱包し、箱の外側の見える場所に RMA 番号を明記して、運賃前払いで返却してください。返却する品物が Synology に適切に配達されるまで、品物に対する保険および損失はカスタマの責任です。RMA 番号を取得した製品は、その RMA 番号を発行してから 15 日以内に必ず返送してください。

2.4 Synology による交換。 第 2.1 条に従って本保証で Synology が製品交換を選んだ場合は、Synology は、第 2.3 条に従って返品された不具合製品を受領後、その製品の保証に適合するか確認した上、自社負担で Synology の選択した配送方法により交換製品を発送します。一部の国においては、Synology は独自の判断により、特定製品に Synology 交換サービスを適用する場合があります。お客様が返却した不具合製品を受領した後で、Synology は交換製品を出荷します（「Synology 交換サービス」）。

2.5 サポート。 保証期間中、Synology は、カスタマにサポートサービスを提供します。保証期間後の製品に対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

2.6 例外。 前述の保証および保証義務は、(a) 製品仕様に指定または説明されていない方法によりインストールまたは使用された製品、(b) Synology またはその代理店または任

命者以外により修理、修正、改正が行われた製品、(c) 何らかの方法で誤用、悪用、損傷した製品、(d) 製品が意図するデザインのハードウェアまたはソフトウェア以外で Synology が提供していない品物を使用した製品、(e) その他の方法で製品の仕様に準拠していない製品、および Synology の管理下でない原因に起因する不具合には適用されません。また、前述の保証は、(1) Synology が許可した場合以外にカスタマが製品を分解した場合、(2) Synology がカスタマに対して提供する修正、改正、強化、改善、その他の更新をカスタマが実施しない場合、(3) カスタマが第三者が提供する修正、改正、強化、改善、またはその他の更新を実施、インストールまたは使用した場合には無効になります。第 2.1 条に制定する保証は、カスタマが第三者に販売または譲渡すると終了します。

2.7 保証の放棄。 本書に制定する SYNOLOGY の保証、義務、責任、およびカスタマの救済手段は、非排他的かつ代用であり、明示または暗示に関わらず、法律またはその他の原因により生じる、以下を含みそれに限定されない本保証の下で提供される製品、ソフトウェア付属の文書、およびその他の品物またはサービスに関連して SYNOLOGY のその他のすべての保証、義務、責任およびカスタマの SYNOLOGY に対するその他の権利、主張、救済手段を放棄、譲渡、拒否します。(A) 市販性または特定目的または使用との適合性に対する暗示保証、(B) 履行の過程、取引の過程、または商慣習により生じる暗示保証、(C) 侵害または不正利用に対する請求、または (D) 不正行為（過失、厳格責任、製品責任またはその他の理論に基づくかどうかに関わらず）に対する請求。SYNOLOGY は、SYNOLOGY の製品に保管されたデータまたは情報が安全であり、データ消失の危険がないことを保証したり具体的に放棄したりしません。SYNOLOGY は、カスタマに製品に保管するデータをバックアップするなど、適切な対策を実施するよう勧めています。州/司法管轄区によっては、暗示保証の制限を許可しないため、上述の制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 3 条。責任の制限。

3.1 不可抗力。 適切に制御できない原因または条件（カスタマの作為または不作為を含みこれに限定しない）により本保証が定める義務の不履行または遅延が発生した場合、Synology は、本保証に対して一切責任を負わない、または本保証の違反または不履行と見なされません。

3.2 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのサプライヤは、製品、付属の文書またはソフトウェア、および本書に基づいて提供されるその他の品物またはサービスの使用または使用しないことにより発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

3.3 責任の制限。 本製品、付属の文書またはソフトウェア、および本保証に基づいて提供される品物またはサービスの使用、または使用できないことから生じる、SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および/または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本製品に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 4 条。その他。

4.1 所有権。 本製品および製品付属のソフトウェアおよび説明書には、Synology および第三者サプライヤおよびライセンスナーの所有権および知的所有権が含まれています。Synology は、製品のすべての権利、権限、知的所有権を保有および保留します。製品、付属のソフトウェアまたは説明書、および本保証に基づいて提供されるその他の物品に含まれる、または対する権利、所有権または知的所有権は、本保証の下でカスタマに移譲されません。カスタマは、(a) Synology または Synology の正規代理店または販売店が提供するソフトウェアに付属する Synology エンドユーザー用の使用許諾契約書の利用規約に準拠し、(b) 製品またはそのコンポーネント、付属のソフトウェアをリバースエンジニアを試みる、またはその他の方法で Synology の知的所有権に不適切に回避、または違反してはいけません。

4.2 譲渡。 カスタマは、本書に基づく自身の権利を、直接、法律の運用または他の方法により、Synology から事前に書面による承諾を得ずに譲渡してはいけません。

4.3 追加条件なし。 本保証で明確に許可した場合を除き、他の当事者が発注書、領収書、承認書、確認書、通信、その他の方法で作成した本保証のあらゆる条項、条件、条項と衝突するその他の規定に対して、両当事者が制約される、当事者の片側が特別に対象となることはありません。ただし、各当事者が書面においてそのような条項に特別に同意している場合は除きます。また、本保証が製品に関連する当事者と締結した別の契約書の利用規約と衝突する場合、他の契約書が本保証の条項に優先されることを特別に言及している場合を除き、本保証が優先されます。

4.4 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本保証は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後継は適用しません。

4.5 紛争の解決。 本製品またはカスタマ間の関係に対して Synology が提供する本保証、製品またはサービスから生じる、または関連する、いかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、カスタマと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国で仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取るようになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、カスタマは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをカスタマは理解していますが、カスタマは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、条項 4.5 に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。米国以外のお客様の場合、紛争は R.O.C. 仲裁法および関連施行規則の手順に従って 3 人の中立調停者により実施される仲裁により、最終的な解決が行われます。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めに

よる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本保証の不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

4.6 弁護士費用。 本保証におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

4.7 輸出規制。 本製品は、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、

本製品に適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

4.8 契約の分離。 本保証に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本保証の残りの部分は有効に存続します。

4.9 完全合意。 本保証は、本件に関する Synology とお客様との間のすべての同意を制定し、あらゆるおよびすべての事前同意に優先します。本保証の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

注意：英語版とその他の言語の説明に矛盾または不一致がある場合は、英語版を優先します。